

会員とセンターをつなぐ広報誌

生きがい王子

第116号 2022年 夏号

編集・発行



公益社団法人
八王子市シルバー人材センター

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

TEL 042(626)1274

FAX 042(626)5159

✉ hachioji-sc@sjc.ne.jp

H.P. <https://hachioji-sjc.org>

八王子市シルバー人材センター

検索



富士見台公園で清掃ボランティアを行いました



八王子市長・
八王子市シルバー人材センター名誉会長

石森 孝志

たかよし

八王子市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、日頃から「広報はちおうじ」等配布業務委託や放課後子ども教室安全管理業務、学校施設管理業務など、本市の事業に対し幅広く御協力いただき、感謝を申し上げます。本市の高齢者人口は現在15万人を超え、今後更なる少子高齢化が進展していく中で、豊かな地域の担い手として、高齢者への期待はますます大きくなっており、高齢者の生きがいづくりは、地域社会の活力に欠かせぬものとなります。

また、高齢者の健康維持のための3つの柱は「運動」「栄養」「社会参加」であり、就業機会の拡充により高齢者の社会参加が広まることで地域社会の活力となるだけでなく、会員の皆様御自身の健康寿命の延伸にもつながります。

貴センターにおかれましては、就労機会の創出だけでなく、令和3年度には他の多くのシルバー人材センターで会員が減少するなか、女性会員数が601名から5630名へ増加するなど、女性の活躍の場としても広まっておりその役割におおいに期待しているところでです。

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、収束に向かうには、皆様一人一人の行動が肝要となります。一刻も早く元の生活に戻り、地域で皆様の能力や経験を充分に発揮できる社会環境となるため、様々な施策に取り組んでまいりますので、引き続き、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、八王子市シルバー人材センターの益々の御発展と会員皆様のより一層の御活躍をお祈り申し上げます。



八王子市シルバー人材センター会長
園部 正範 (7475)

第12回定時社員総会が6月16日いちようホールで開催されました。

過去2年は、新型コロナウイルス感染症対策で理事・関係者のみの出席で開催しましたが、今回は感染症対策を十分にしている会員の皆様にも会場への出席をお願いし、出席者96名、委任状1227名、議決権行使書498名となり会員の過半数を超えたことで総会が成立しました。1821名の皆様のご参加ありがとうございました。

コロナ禍ではありますが、業績は回復基調で事業収入は9億7千万円とコロナ前の水準に近い所まで戻っております。高齢者社会を元気なシルバー会員が支える一翼となっております。ぜひ健康寿命を延ばして活躍をお願いします。

配分金が大幅に改定されてから既に5年以上経ち、4月から配分金検討委員会を立ち上げました。各職種班からの委員も加え、来年10月から始まるインボイス制度もにらみながら、来年度の改定に向けて検討をしています。

また安全に関しては、転倒事故が増えています。1月に産業医から「転倒とフレイル」をテーマに健康講話を開催しました。日頃の生活から転倒防止にご注意ください。

安全管理委員会では今年度から事故が発生した時に委員が現場に向き写真を撮ると共に事情聴取した結果を踏まえ委員会でも再発防止の検討をし皆さんにお知らせしています。

耳の痛い話ですが、昨年度、就業時の不祥事が数件起きています。その中で、依頼された仕事を会員以外の者に手伝わせたという事例が発生しており、これは重大なシルバーのルール違反になります。仕事の人員確保に困ったときは直ぐ事務局に相談してください。

まだまだコロナの収束には時間が掛かりそうです。充分注意して就業にも努めて下さい。よろしくお願いします。



常務理事
伊比 洋司 (特43)

第12回定時社員総会を、会員の皆様のご協力により無事開催できたこと、あらためて御礼申し上げます。

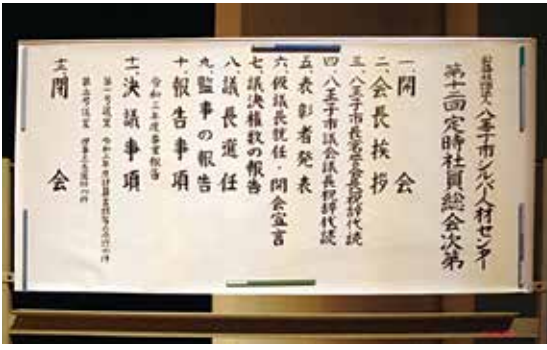
今回の総会は、3年ぶりに会員の皆様にも会場にお越しただいて開催することといたしました。新型コロナウイルス感染症防止のため、ご来場いただいた皆様には、受付時のチェックのほかに会場内では十分な間隔を取ってご着席いただき、おかげ様で感染者を出さずことなく総会を実施することができました。皆様のご協力に感謝いたします。

さて、話しは総会でもご報告させていただきました、当センターの運営状況になりますが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が依然として大きく、一昨年に続き2年連続での赤字決算となっております。

仕事の受注件数はコロナ感染拡大前の9割程度まで回復しているのですが、感染が拡大してくると、その間閉鎖となる施設も多く、また会員の皆様とも郵送などで書類のやり取りをすることが増え、そのために通信運搬費の負担増も頭が痛いところでもあります。

理事会でもこの状況を重く受け止め、2年間の状況を分析するとともに、今年度も大きく状況が好転することは考えづらいという前提で、事務費収入が昨年と同様であっても収支が均等となるよう、緊急財政対策を実施し、最大限の経費削減に取り組んでおります。

現在の見通しとしましては、会員の皆様に大きなご負担をおかけすることなく、黒字運営ができる見通しとなっております。ですが、会員の皆様も厳しい財政状況を認識いただき、できるだけ書類のやり取りを減らすため、記載内容の確認を事前に十分行っていただく、ホームページやメールを活用いただくなど、個人として出来る経費節減のための取り組みに、ぜひご協力をいただけますようお願い申し上げます。



新理事紹介&ごあいさつ



松岡 秀幸 理事

井田 利行 理事

岩澤 孝嗣 理事

特別会員・理事（市福祉部長） 松岡 秀幸

(特 44)

令和4年版高齢社会白書によると、65歳以上で生きがいを感じている人の割合は72・3%で趣味などの活動や収入を得る仕事をしている人ほど、その割合が高く、収入の伴う仕事をしている人の81・3%が生きがいを感じているとのこと。

現在、本市の高齢者人口は15万人を超え市民の4人にひとりが高齢者となりますが、その方々が、自身の能力や経験を活かしながら生きがいを持って日々の生活を送ることが出来る環境づくりにおいて、シルバー人材センターの存在、また、寄せられる期待も大きいのではないかと感じています。

微力ではありますが、その期待に応えていくためにもセンターの更なる発展に努めてまいります。

北部地区担当理事 井田 利行

(11777)

この度、6月16日開催されました第12回定時社員総会において理事に選任して頂きました。前任者の残余任期一年間ですが、諸先輩理事皆様のご指導をいただきながら頑張りたいと思います。

仕事としては、駐車場案内、受付業務を経験しました。シルバー会員としては年数も短く経験もあまりありませんが、令和3年度決算が赤字ということと喫緊課題としての収支バランスのためにいかにして就業拡大と維持継続することに努力していきます。

今後は皆様と共に、与えられた職務を全うする所存でありますのでよろしくお願いいたします。

東南部地区担当理事 岩澤 孝嗣

(9936)

八王子市シルバー人材センター（SJJC）に入会して8年となりました。この間、施設管理業務、サービスマスター、配布業務などに携わり、また班長、リーダー、委員を担当してきましたが、この度の社員総会にて理事に選任されました。

理事はSJJC運営の重要な役割を担い、SJJC発展の責務を負うこととなります。これまでの就業経験や皆様との厚誼により得た多くのことを生かしていければと考えます。

会員の皆様、関係先の方々、事務局のご協力、ご支援を戴きながら、大役を果たすため微力を尽くしたいと存じます。

よろしくお願いたします。



表彰者の皆さん おめでとうございます

表彰者

- 職種班からの推薦
 除草班
 井上 和夫 (8209)
 久島 正文 (8360)
 植木班
 曾根 通介 (8372)
 早川 正史 (8384)
 パソコン班
 武田 栄夫 (7228)
 佐々木 喬 (9031)
 表装班
 今野 眞生 (5789)
 刃物研ぎ班
 鈴木源一郎 (11918)
 班長・副班長を6年以上務められた会員
 志茂山達雄 (9584)
 小島 桂治 (9101)
 草山 正一 (10101)
 野村五十六 (8393)
 中村 真 (6923)

地域班班長・副班長のご案内

地域班の班長・副班長一覧を作成しました。
 「生きがい八王子」に挟み込みますので、お住まいの地域の班長・副班長のお名前をご確認ください。

地域委員会

常任委員会

総務委員会

コロナで停滞している世情ですが、世の中は実は大きく変化しています。シルバーも就業が落ち込んだここ2〜3年の影響で節約運営となっております。令和3年度は500万円の赤字になりました。

また、令和5年10月からは、インボイス制度が導入となり皆様の配分金にも課税が始まります。なるべく負担なく分かり易い方法を検討していますが、マイナスに負けないよう会員の増強や就業チャンスを増やすため新規事業の展開にも力を注いでいます。

皆様のご意向を伺いながら第4期(令和5年〜9年)中期計画を策定し、しっかりとシルバーの5カ年計画を考案しているところです。

健康を維持し地元で元気に仕事も楽しみも喜びも分かち合えるよう、コロナに負けず頑張っているシルバーに行きましょ。

地域委員会

今年度の主な活動取り組みについて三点ご紹介いたします。

一点目は会員入会促進です。シルバー全会員（地域班会員）により口コミでの声かけを進めます。

二点目はシルバー地域班の組織強化です。特に女性会員、新入会員の新しい力を活かし、班長・副班長と一緒に活動活性化を進めます。

三点目は皆様がお住まいの地域の小さな社会奉仕活動（ボランティア活動）を進行し、地域に密着した連携を進めます。

コロナ禍が長く続き、ややもするとシルバー入会時の希望である就業と社会奉仕活動そして、何よりもシルバーは皆さまご自身が参加し運営する自主的組織である事を見失いがちになっておりませんか。会員一人ひとりの地域班の皆様、事務局の皆様のお力を借りて生き生きとしたシルバー、地域班に成長するため継続し取り組んで参ります。ご協力ご支援を宜しくお願致します。



業務委員会

業務委員会の今年度の活動方針をご紹介します。今年度は、次の4つのテーマに取組んでいきたいと思っております。

- 一、新事業の開拓
- 一、顧客満足度の向上
- 一、不満足就業の撲滅
- 一、職種班の新設

新事業の開拓は、総務委員会、女性委員会のメンバーの皆さんとも共働し進めていく予定です。

顧客満足度の向上については、昨年11月に再開した顧客訪問活動を今年も実施する予定であります。

不適就業の撲滅は、過去に発生しその再発防止策の検証や就業環境の改善等による事件・事故発生未然防止策の検討をしていきたいと思っております。

職種班の新設に関しては、現在ある技能系の職種班以外に施設管理、放課後子ども教室安全管理、家事援助等の管理系の業務にも多くの会員の皆さんが就業されておられるので管理班（仮称）の新設を進めていきたいと考えております。

会員の皆さん、事務局の皆さんのご協力、ご支援もあおぎながらこれらの活動を進めてまいりたいと思っております。

安全管理委員会

事故発生件数が東京都の中で二年連続してワースト5に入りました。事故の6割が転倒事故。ちょっとした不注意が原因と思われる。

産業医の先生は「高齢者は自分が思っているほど足が上がっていない。転倒しても、すぐ手が出ない為、顔・頭・腰の打撲が多く回復も遅い。かかとから着地するように歩いてください。踏み台に上がるときは危険がないかチェックをお願いします。」と言われています。

また、暑い夏が到来、熱中症の多発時期、高齢者に試練が続きますので予防として、水分補給や少しの塩分補給を心がけるようにお願いします。

健康診断を受診し、自分の身体は自分で守りましょう。



女性委員会

日頃会員の皆様には女性委員会主催のセミナー・講演会

への参加又フードバンクへのご寄付などご協力有り難く存じます。

フードバンクも昨年12月から始まり毎月一回シルバー会員様からの品物を預かり「えがお」さんにお届けさせていたただいており大変喜ばれております。

又5月25日には大塚製薬さんのご協力でウエルネスセミナーを開催し30名程の参加がございました。

管理栄養士の先生がシルバー世代に相応しい健康レシピやフレイル等の説明を解りやすく講義していただき大変参考になりました。

8月は女性懇談会が新型コロナウイルス感染者の急拡大により延期となつてしまいました。（再開の際は「おおるり」で告知します。）

10月には「ここにこフェアー」が予定されていますが、無事開催されましたら女性委員会一丸となって取り組んで行きます。

これからもイベントにつきましては「おおるり」でお知らせしていきます。

どうぞふるってご参加頂きお楽しみいただけたらと思っております。

広報委員会

新型コロナウイルスの拡大が続き各種イベントの開催が困難な状況になっている為、参加型の広報活動が停滞しています。

現状を見据え、後述の活動をすすめていきたいと思えます。

*開催されるイベントへの積極的な参加

*従来からの方法に加え新しい広告媒体の開拓・利用

*広報委員会 YouTubeチャンネルを開設(投稿準備中)

*仕事・職種の紹介等をビデオ化し、イベント会場で公開、可視化によるPR活動の強化

*「QRコード」の利用者拡大を目指す

*「入会案内・手続き Web化」に協力してゆく

会員の皆様にもアイデア投稿・情報提供をお願いいたします。



職種班だより



配布班

「広報配布での独り言」

小島 隆

(9660)

広報配布を始めてからこの5月でちょうど10年目を迎えました。ここまで続けてこられたのは、やはり約4日間の配布期間を自分のペースでできる事や、歩くことによる日頃の運動不足の解消でしょうか・・・。

現在、東部6B班のチームリーダーとして15名の会員と共に緊密な連携を取りながら約8200部の広報配布を鑑水地区および上柚木地区の5町丁で行っています。

何処の班も同様かと思いますが、やはり配布会員の高齢化と後継者不足が悩みの種となっています。

このひとつである後継者不足の解消としては私事になりますが、定年後に始めた毎朝のラジオ体操や毎週の植栽ボランティア活動等を通じてそのメンバーに声をかけ、お願いし、既に数名の方に配布会員として活躍して頂いており

ます。事務局や地域班の班長・副班長からの情報提供や勧誘もさることながら如何に個人的な人脈作りが大切かを身をもって痛感しているところで・・・

未だ収束の兆しが見えないコロナはもとより熱中症にも十分注意をし、配布時における見守りボランティア等社会奉仕活動の意識も持ちながら、今後とも広報配布活動に取り組んでいきたいと思っております。



筆耕班

「筆を執る重み」

松田 光代

(11871)

私は、「広報はちおうじ」のひろばに「仕事をするための実用書道教室」の会員募集を見たことがきっかけで参加し入会しました。

研修会では、実務に役立つ手本を元に、高尾山薬王院の浄書、卒業証書、宛名書き等技术向上のための指導を受け先生の講話の中で「甘い考え

ではいけない。これからが修業。」の言葉に、いい加減な気持ちではいけないとの教えを受け、今迄の趣味として書道を習っていた頃とは違い、仕事として筆を執る責任や重さを感じています。

これからも、すみれ会の標語である「正しく・早く・美しく」書けるように、ご指導をいただきながら、先生方に一歩ずつでも近づいていきたいと思えます。



「チヨット気持ちのいい話」

匿名希望会員

第4週の木曜日、シルバー事務局に用事があり久々に出かけました。すると入口前にテントがあり刃物研ぎの皆様が元気に和やかに作業をされていました。

「何時までだったら間に合いますか？」「午後1時位までに持ってきてくれれば大丈夫！」早速家に帰り包丁2本を届けました。一度家に帰りまた出向くつもりでいたら「遠くから来てくれたんだね。少しだけ待っててね。」と、受付も済まないうちに職人風の前掛けを掛けた方がすぐに1本の包丁を研ぎ出しにかられました。

すると周囲の方々が「腕が確かな師匠だからよく切れる様になるよ！」受付表を記入しているうちに出来上がりました。なんと素早く作業手順もよく、お客様第一の接客にびっくりでした。

そして出来上がりの包丁を渡す時「包丁どう持って使ってる？」と聞かれ、包丁を握ると、もう一本の包丁で親指と人差し指の添え方見本を示

して下さり、とても参考になりました。

爽やかな新緑を見ながら車で帰宅し、早く包丁を使ってみたくなり夕食の用意に取り掛かりました。すると苦労していた刻みも楽になり台所に立つのも楽しくなりました。

包丁の使い心地でこんなに違うものかと実感しながら刃物研ぎ班の仕事ぶりが爽やかな新緑と重なって見事でした。「エール」を送ります。



「きょうらぎ」会員だより

西南部地区 大和敏子

(11554)

春まだ肌寒くうす曇りの2月4日金曜日JR西八王子駅ダイエー前九時四十分集合、7名参加の七福神、八王子にちなんで八福神巡りに出発です。

まずは長房団地行きバスに揺られて吉祥天へお詣り。次は歩いて寿老尊、新護弁財天、この庭内には表情豊かな猫の置物がひしめきあっていました。

走大黒天では和尚さまに、走大黒天はインドの神様で恵比寿様が海の神なら走大黒天は大地の神、全世界を飛び回って農民の手助けをしているから真っ黒に日焼けしていますと。うなずきながらよく見ると俵の上に乗っています。お堂の畳に座ってお経以外のお話を聞くことができ、心が穏やかになったひとときでした。

布袋尊では、皆なで家庭円満を願い、立派なお腹をなでまくり大笑いでした。

お昼は近くの回転寿司店で黙々ランチ。お腹も満たされて次の福祿寿、七番目の毘沙

門天と巡り、あれ？確か俳優の中條静夫さんがこのお寺に眠っている筈。危ない刑事シリーズをよく見たなあ。八王子出身と聞き感慨深いものがありました。

最後の恵比寿天は唯一日本の神様で海、商いの神様としても知られています。インドや中国の神様が多い中、親近感を覚えました。

コロナ禍での八福神巡り、初めての参加でしたがマスク越しで長い道のりもお喋りしながらでさほど苦にならず楽しめた上にお年玉ならぬお年給を走大黒の和尚様に人数より多く頂き、ジャンケンで勝ち取って喜びの声を上げたりと和やかに終える事ができました。ありがとうございました。

この企画に携わった役員の方々に感謝致します。



「花見の集いに感謝」

篠原 素子

(8704)

待ちわびた、蔓延防止解除後の三月二十七日小田野中央公園に、男女有志16名が集合。

個人参加の為、各自マスク着用。除菌液、飲み物、弁当持参。当口は薄曇り、公園内は、桜は蕾、紅白梅が満開。スミレ、チューリップ、黄金色の菜の花が一面に咲き眩しい程です。

参加者は間隔をあけて車座にて昼食。その後自由に散策、歓談（健康・仕事・趣味・ボランティア活動）に話が弾み、最高齢のO氏が、家で採れた野菜を奥様が心込め料理して下さる事を、ハツラツと語られる姿に感動！

心温まる時は過ぎ、解散。自分のゴミを持ち帰り、平和な至福の一時に感謝致します。



「フードバンクご寄付のお願い」

設楽 和子

(7145)

日頃、フードバンクへの、ご寄付ご協力大変感謝しております。

現在、女性委員会の委員が月1回「フードバンク八王子えがお」さんへ皆様から提供して頂いた品物をお届けしております。

この取り組みも、昨年12月からスタートしお陰様で半年が経過致しました。スタート時から比べますとお届けする品物が少なくなってきたのが現状です。お互い助け合いの気持ちで会員一人一人が、例えばですが「缶詰1個、レトルト食品1袋」を提供することで生活困窮者への希望に繋がっていくことを願っています。引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いします。



編集後記





最近、テレビ・広告・お知らせ等、いろいろなところで「QRコード」を目にする機会が増えてきました。

スマホ等で読み取ると多くの情報を簡単に手に入れる事が出来る便利な機能です。今後益々広がっていくと思われます。

今回「QRコード」の読み取り方の一例を紹介しますので是非この機会に試してみても良いでしょう。

下欄にホームページアクセス・ボランティア活動・センター行事等、QRコードを掲載しましたので、お試し頂けたらと思います。
*ご自身でお使いのアプリ「QRコード・リーダー」から読み取って下さい。使用中のアプリがない場合は左記方法で「LINE」からでも読み取りできます。

「LINE」から読み取る方法

- ①  タッチ
- ②  画面下・左 (ホーム) をタッチ
- ③  画面上・右(マーク) をタッチ
- ④ 画面中央 (QR コード) をタッチ
- ⑤  QR コードに 焦点を合わせる
- ⑥ 画面上・(リンクを開く) をタッチ

ホームページアクセス

*就業情報
「おおるり」等



浅川清掃ボランティア

*令和3年開催
ボランティア



センター行事

*第12回
定時社員総会



きさらぎ班イベント

*村内美術館・散策

